

「一人一台端末の授業における効果的な活用を目指して」

加須市教育委員会

加須市の各小中学校の取組

本市では、学ぶ道具として一人一台端末を用い、児童生徒が「情報活用能力」を発揮しながら各教科等の学習を深めていけるよう実践を積み重ねている。

学力向上を目指し、「効果的な活用」を、「本時のねらいを達成するための活用」と位置づけて、各校で取り組んだ。

【国語】

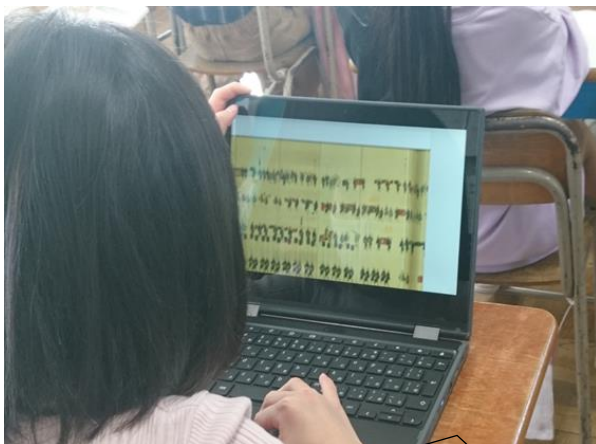
小2 「せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう」



段落のまとまりを順序よく並べる活動を通して、「読み手にわかりやすい文章を書くための順序」について、考えを深めることができた。

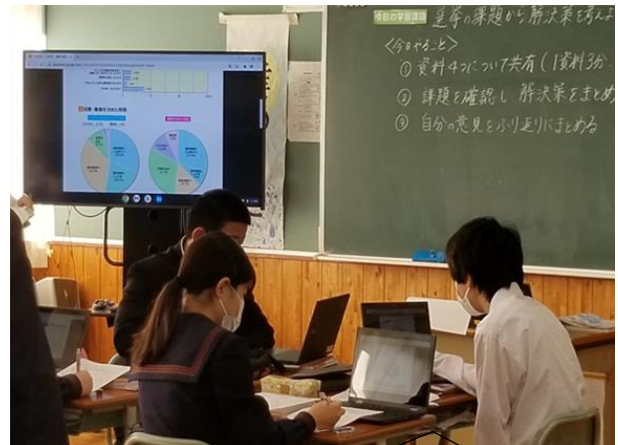
【社会】

小6 「江戸幕府と政治の安定」



提示された資料を拡大して、細部の特徴を調べることで、江戸幕府の政策について深く考えることができた

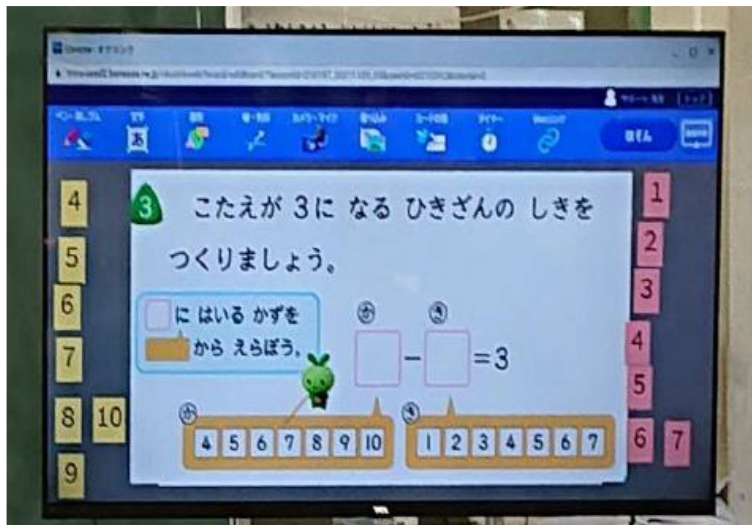
中3 「民主政治と政治参加」



端末に提示された複数の資料をもとに、国民が選挙に行かない理由について活発に話し合いが行われた。

【算数】

小1「ひきざん」



数字を移動させながら考えることで、条件に合う引き算の式をつくることのできた。

小6「並べ方と組み合わせ方」



児童は、ノートに書いた自分の考えを写真に撮り、教師用の端末へと送信した。大型モニタを用いて学級全体で素早く共有が行えたことで、その後の対話活動が充実した。

【理科】

中2「電流とその利用」



各地点の電流を調べるための回路について、回路シミュレーターを用いて考察した。実験に必要な器具やその接続方法について説明ができるようになった。

中1「植物の特徴と分類」



観察する植物を端末で撮影し、画像データを用いてレポートを作成した。写真やレポートを他の生徒と共有することができ、植物の特徴についての話し合いが充実した。